

ごみをリサイクルするには、お金がかかります。様々な容器包装を作っている会社と、その容器包装を使って商品を売っている会社やお店を『**特定事業者**』といい、容器包装ごみが資源に生まれ変わる為にかかるお金を『**指定法人（日本容器包装リサイクル会）**』に支払うことで役割を果たします。

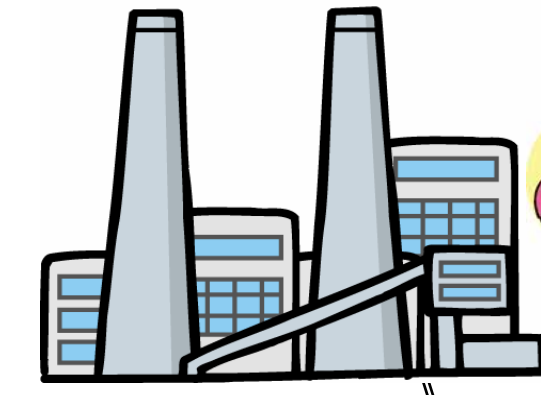
家庭から出るごみの半分以上、約60%（容量）が『**容器包装**』なのです。これらの容器包装ごみが、新しい材料に生まれ変わったら…そんな考えから出来たのが、『**容器包装リサイクル法**』です！

消費者は家からごみを出すときに、まずキャップをはずし、出来るだけラベルをはがしたりして、素材の違うものを別々にします。そして水で洗って『**きれい**』にします。きれいになったペットボトルを住んでいる町のルール通りに『**分けて**』ごみを出します。これを『**分別排出**』といいます。

市町村は、消費者が分けて出したごみを、収集車で素材ごとに集めます。これを『**分別収集**』といいます。

収集車が運んできたごみは、『**トラックスケール**』にて計量をします。地区及び種別によるごみの排出量などを調べるためです。

『**ペットボトル減容機**』を使い、圧縮梱包し、減容します。これにより、**運送費用の節約**が出来ます。



【製品化工場】

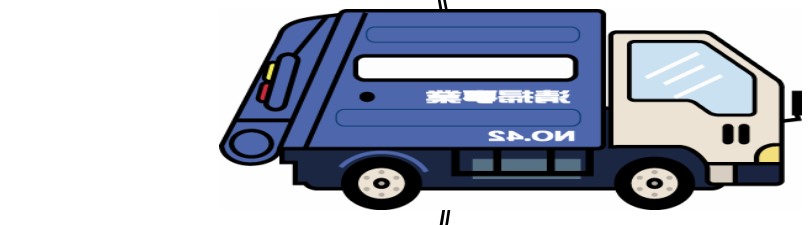
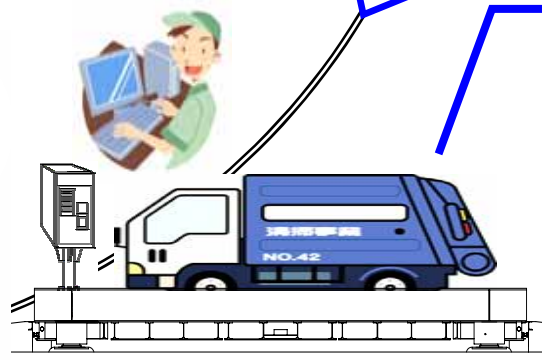


### ペットボトルリサイクル



【ペットボトル破碎工場】

ここでごみが新しい材料に生まれ変わります。消費者がきちんと『**分別排出**』していればよりよい材料として生まれ変わることが出来ます。この仕事をしている人たちを『**再商品化事業者**』といいます。



【集積場】

